

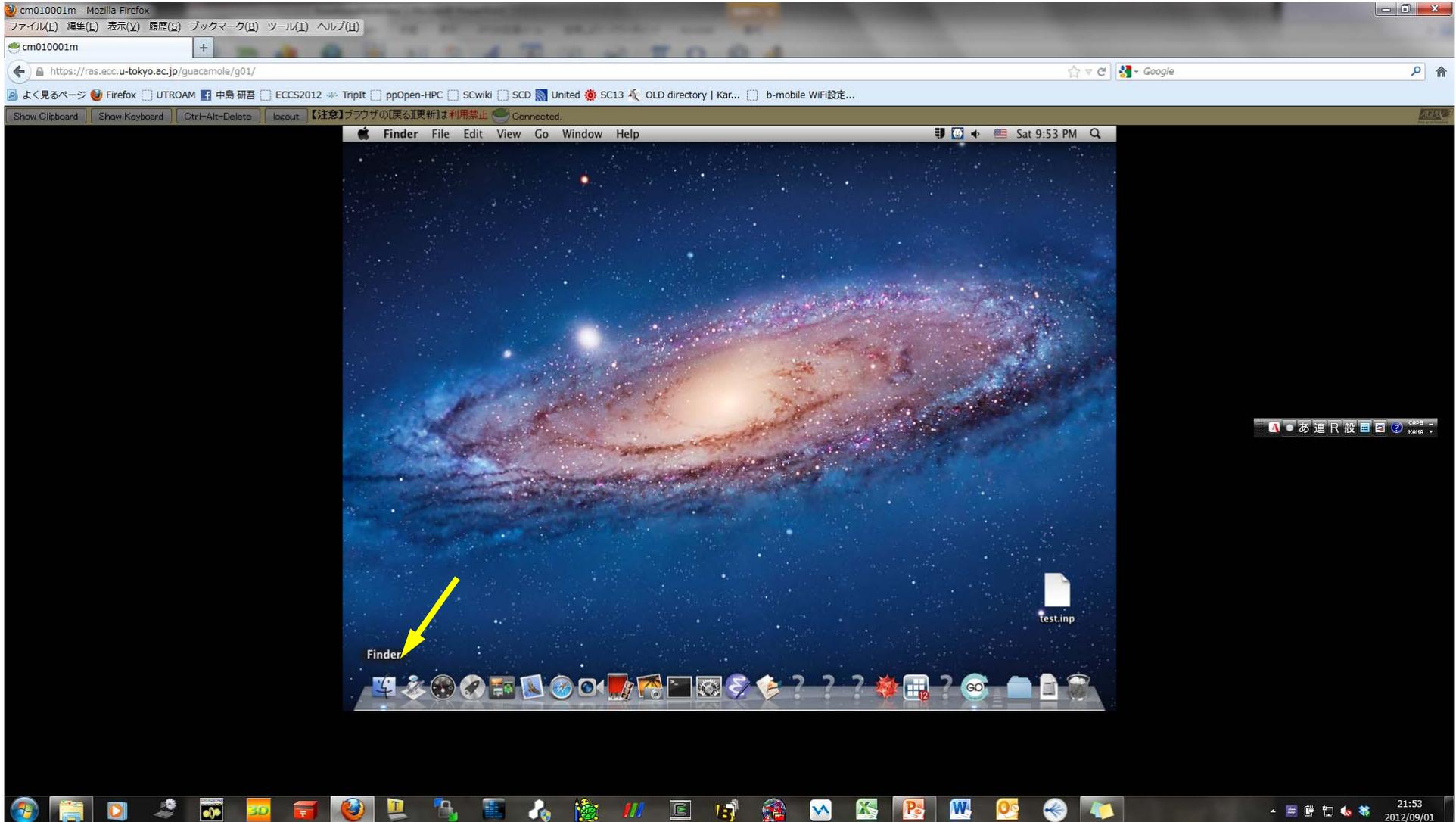
ParaView利用ガイド

<http://www.paraview.org/>

東京大学情報基盤センター

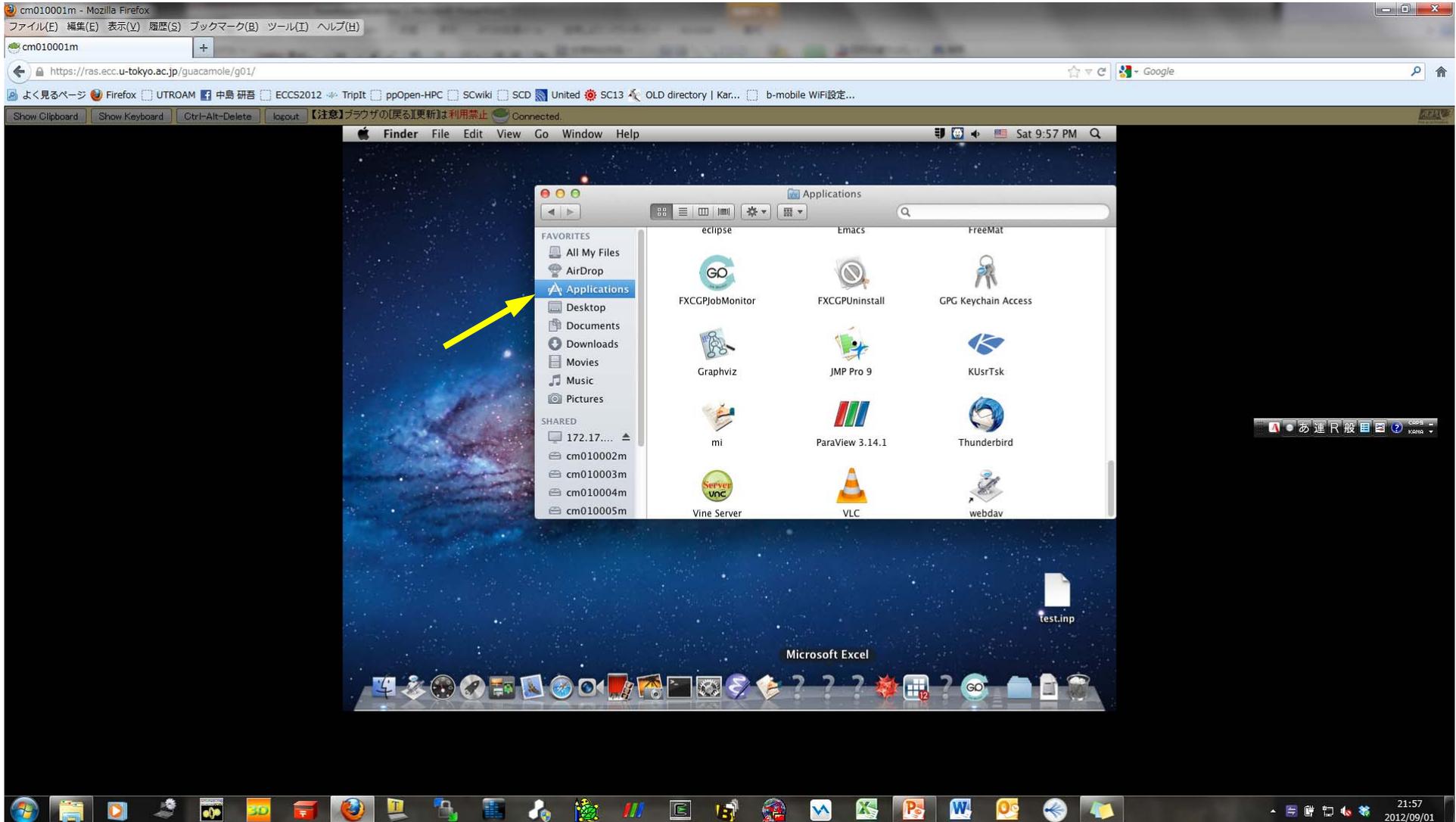
起動法(1/6)

「Finder」をクリック



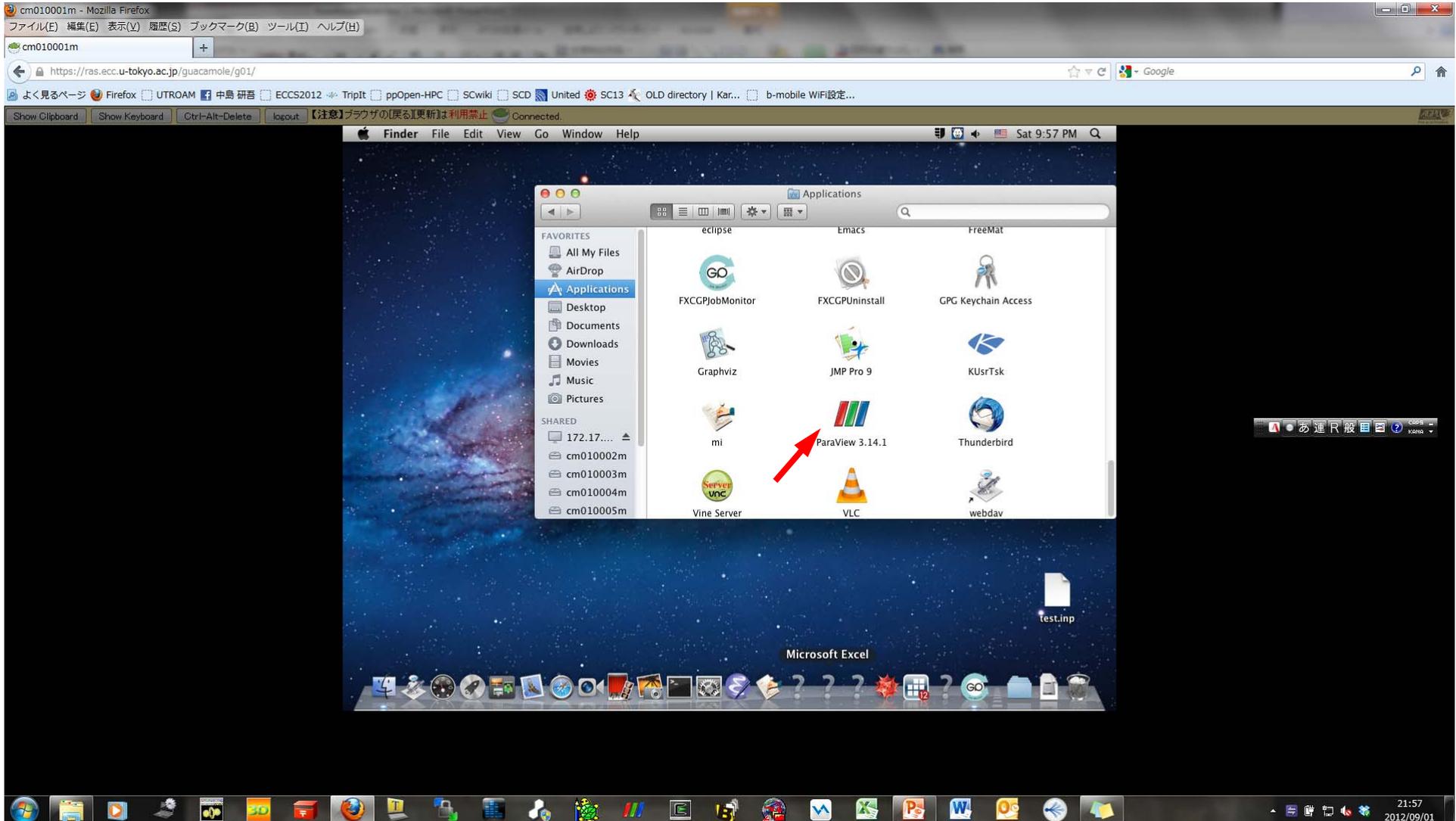
起動法(2/6)

「Applications」を選択



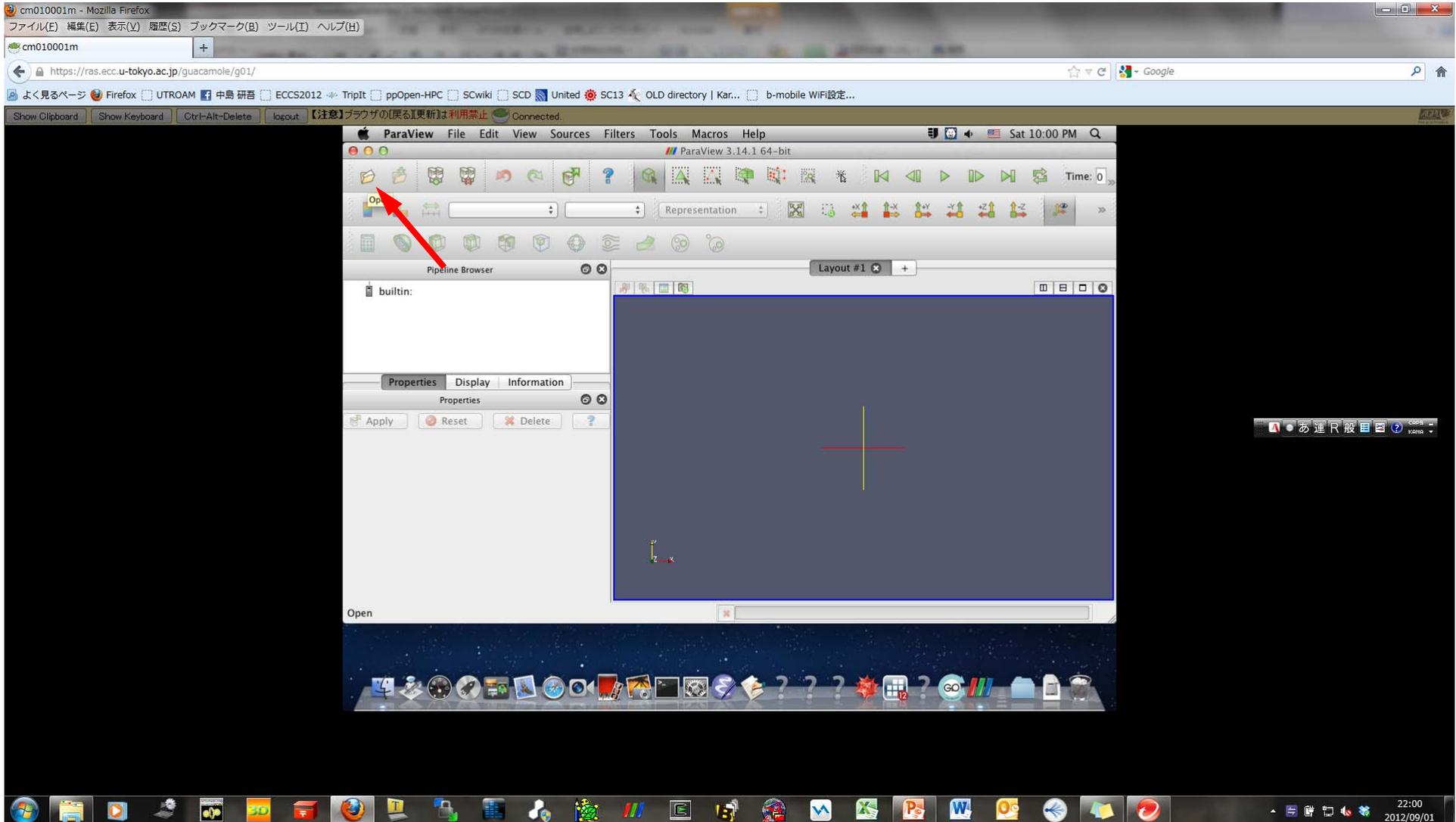
起動法(3/6)

「Paraview 3.14.1」をダブルクリック



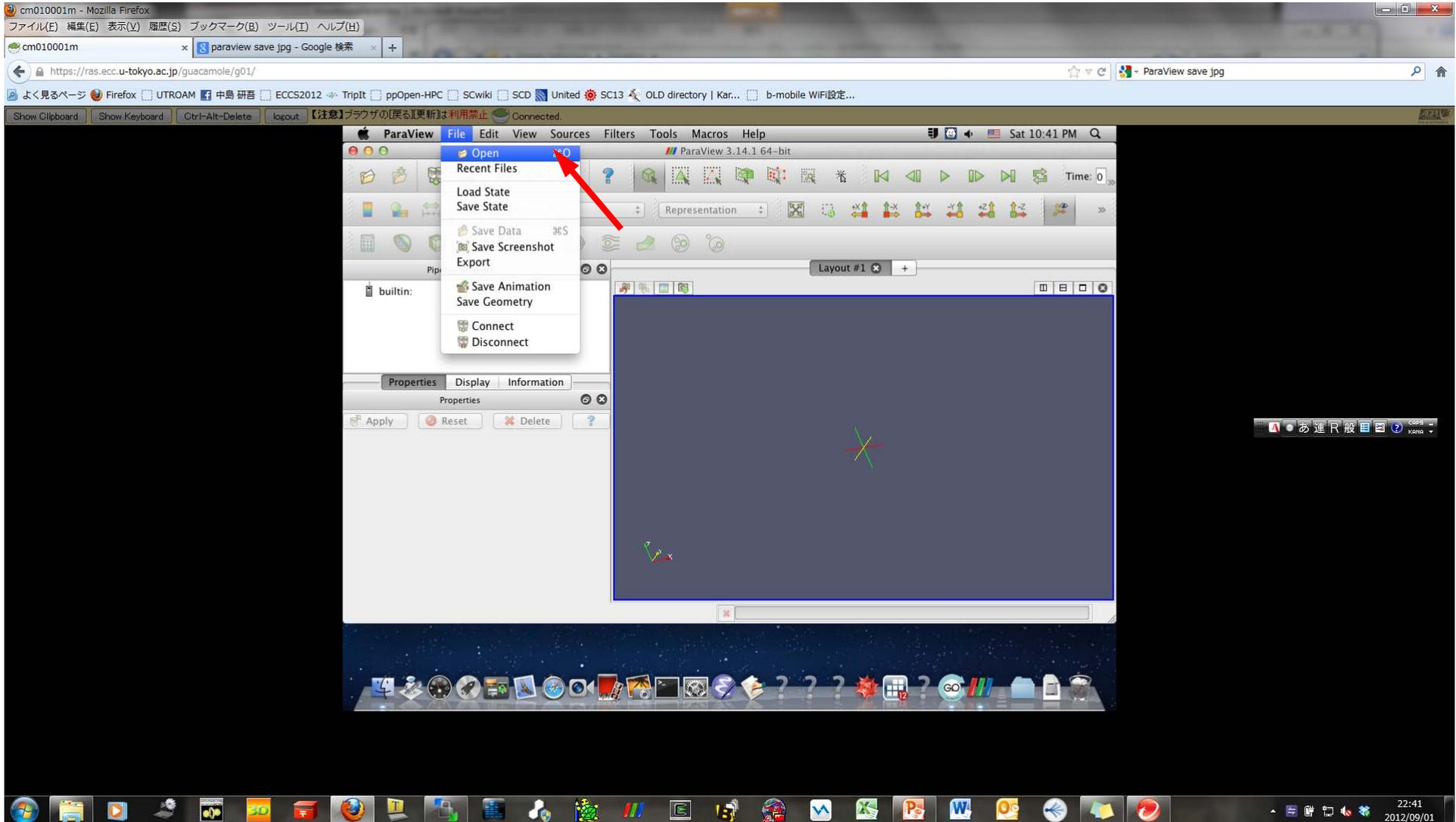
起動法(4a/6)

「File/Open」を選択, UCDファイルを読み込み



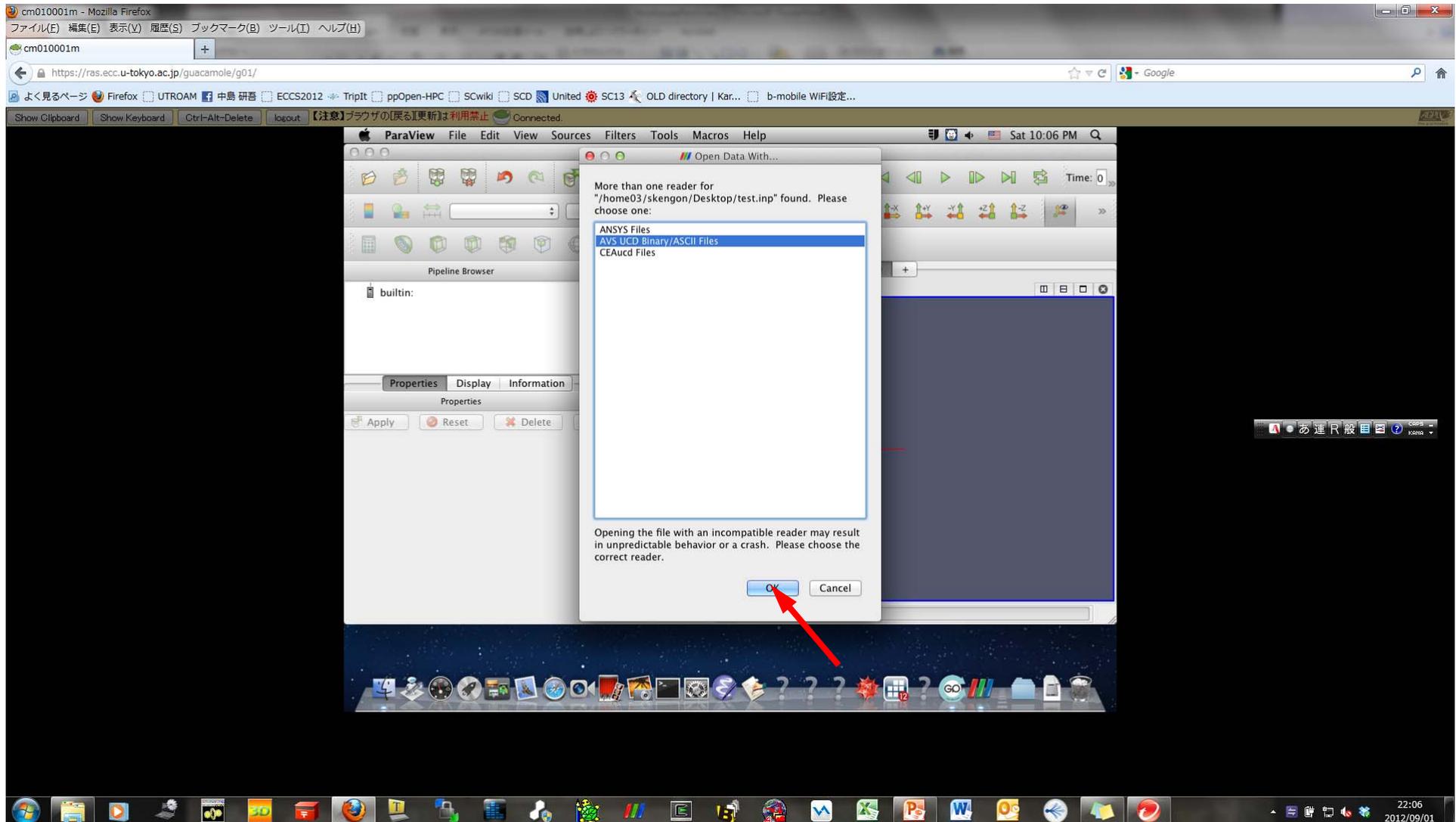
起動法(4b/6)

「File→Open」を選択, UCDファイルを読み込み



起動法(5/6)

二行目「AVS UCD Binary/ASCII Files」を選択



UCD Format (1/3)

Unstructured Cell Data

要素の種類

点

線

三角形

四角形

四面体

角錐

三角柱

六面体

二次要素

線2

三角形2

四角形2

四面体2

角錐2

三角柱2

六面体2

キーワード

pt

line

tri

quad

tet

pyr

prism

hex

line2

tri2

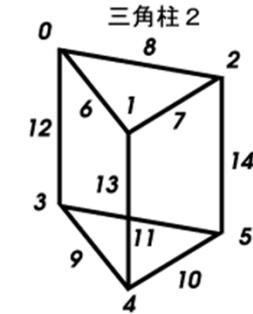
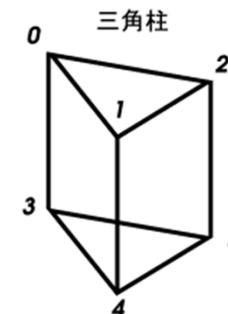
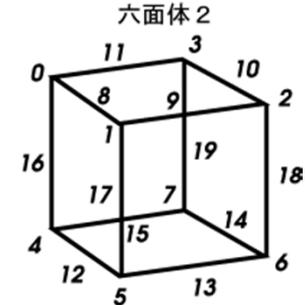
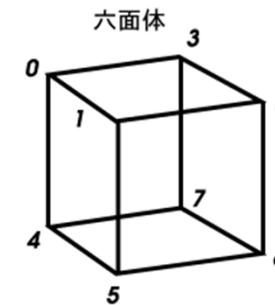
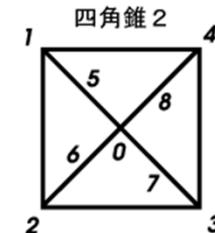
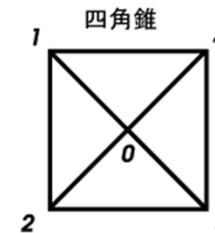
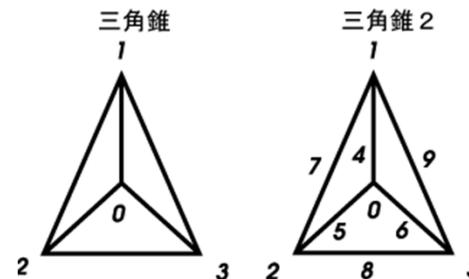
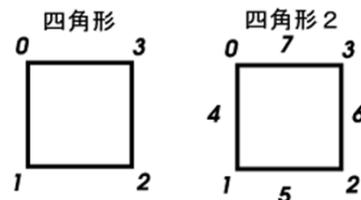
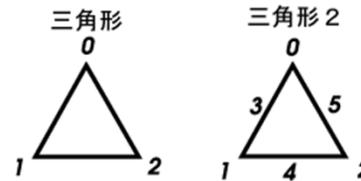
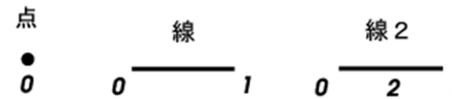
quad2

tet2

pyr2

prism2

hex2



UCD Format (2/3)

- Originally for AVS, microAVS
- Extension of the UCD file is “inp”
- There are two types of formats. Only old type can be read by ParaView.

UCD Format (3/3): Old Format

(全節点数) (全要素数) (各節点のデータ数) (各要素のデータ数) (モデルのデータ数)

(節点番号1) (X座標) (Y座標) (Z座標)

(節点番号2) (X座標) (Y座標) (Z座標)

·
·
·

(要素番号1) (材料番号) (要素の種類) (要素を構成する節点のつながり)

(要素番号2) (材料番号) (要素の種類) (要素を構成する節点のつながり)

·
·
·

(節点のデータ成分数) (成分1の構成数) (成分2の構成数) ... (各成分の構成数)

(節点データ成分1のラベル), (単位)

(節点データ成分2のラベル), (単位)

·
·
·

(各節点データ成分のラベル), (単位)

(節点番号1) (節点データ1) (節点データ2)

(節点番号2) (節点データ1) (節点データ2)

·
·
·

(要素のデータ成分数) (成分1の構成数) (成分2の構成数) ... (各成分の構成数)

(要素データ成分1のラベル), (単位)

(要素データ成分2のラベル), (単位)

·
·
·

(各要素データ成分のラベル), (単位)

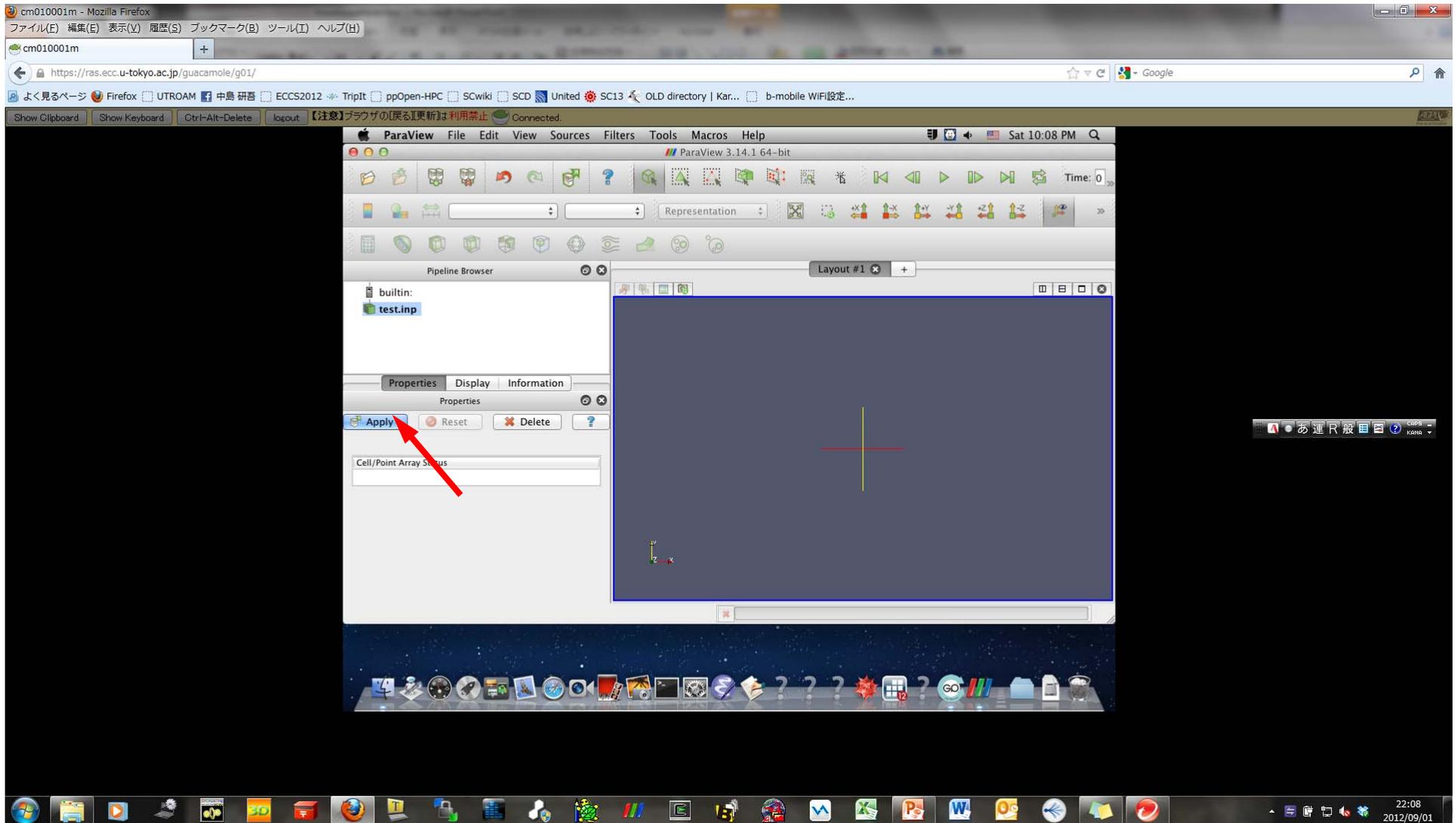
(要素番号1) (要素データ1) (要素データ2)

(要素番号2) (要素データ1) (要素データ2)

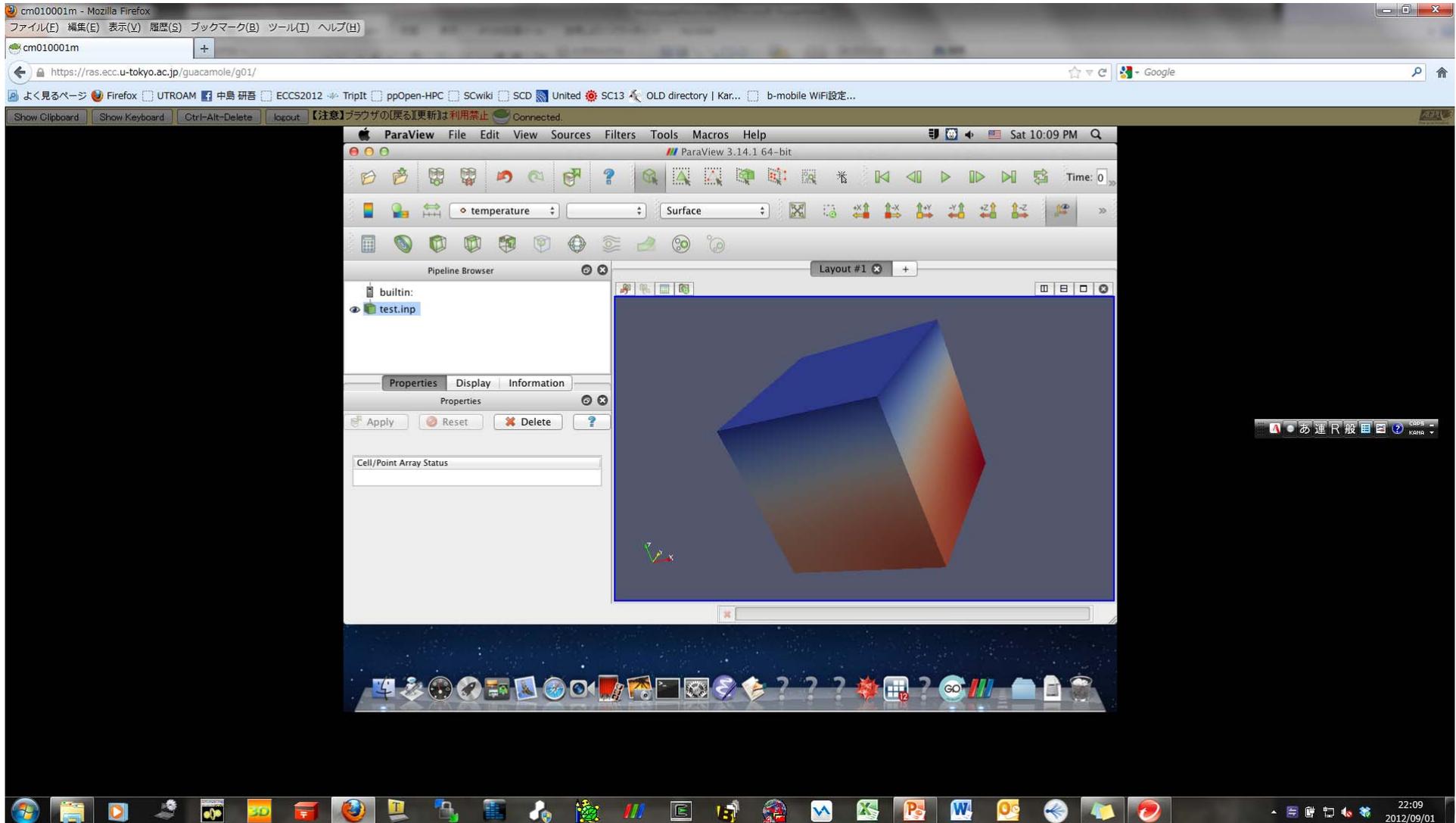
·
·
·

起動法(6/6)

「Apply」をクリック

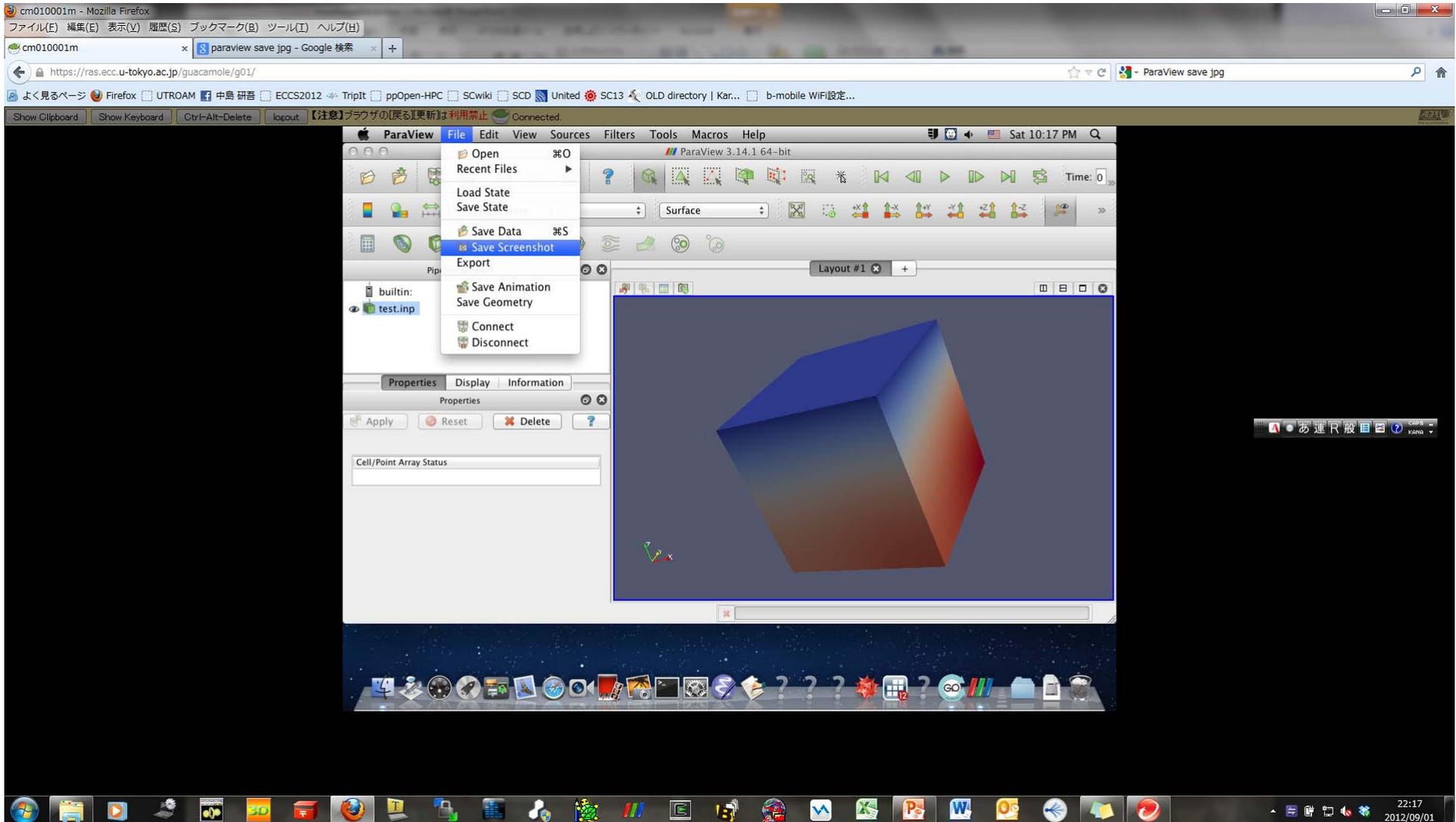


図が表示される クリックマウスで回転



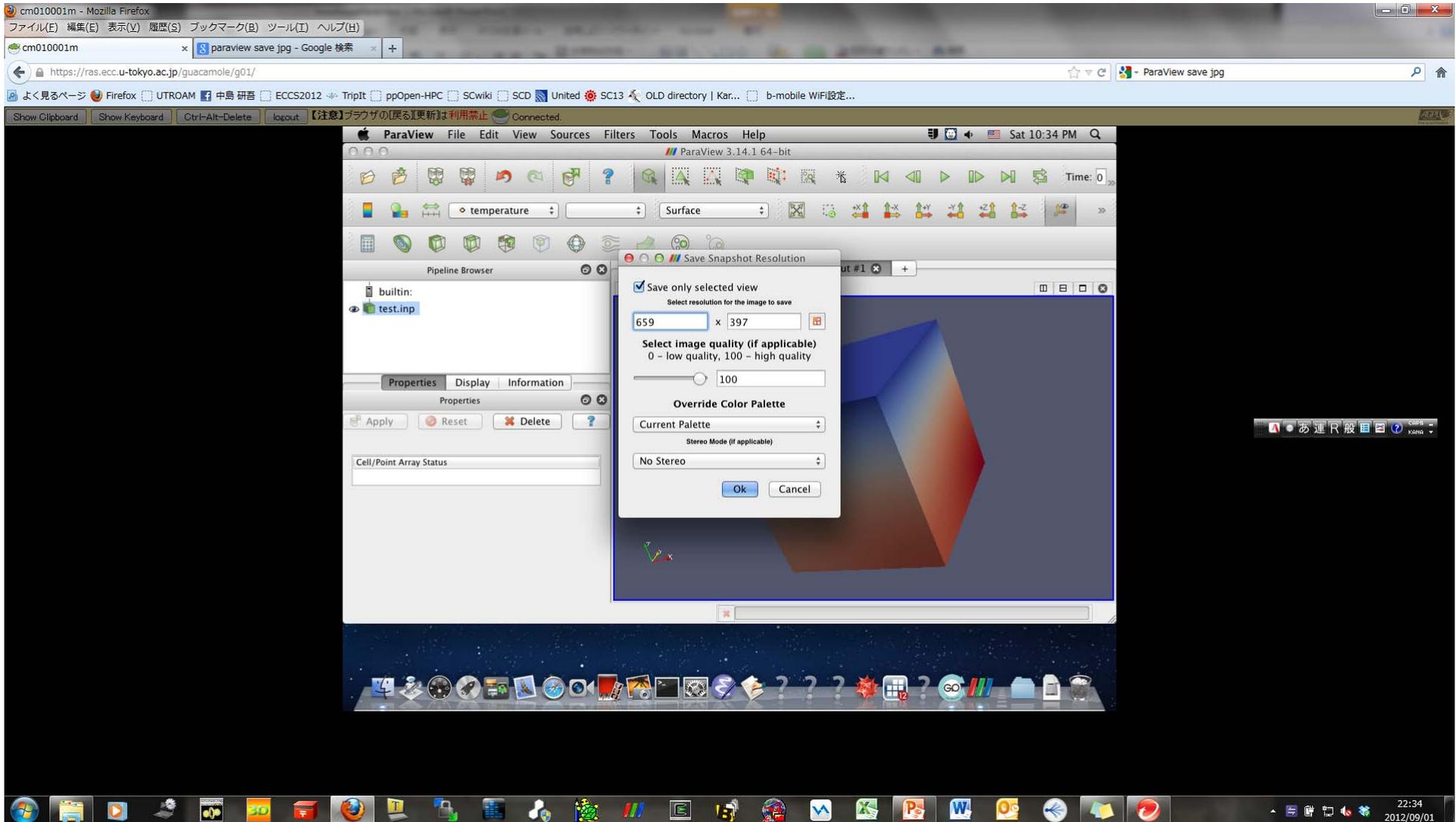
図の保存(1/3)

「File→Save Screenshot」



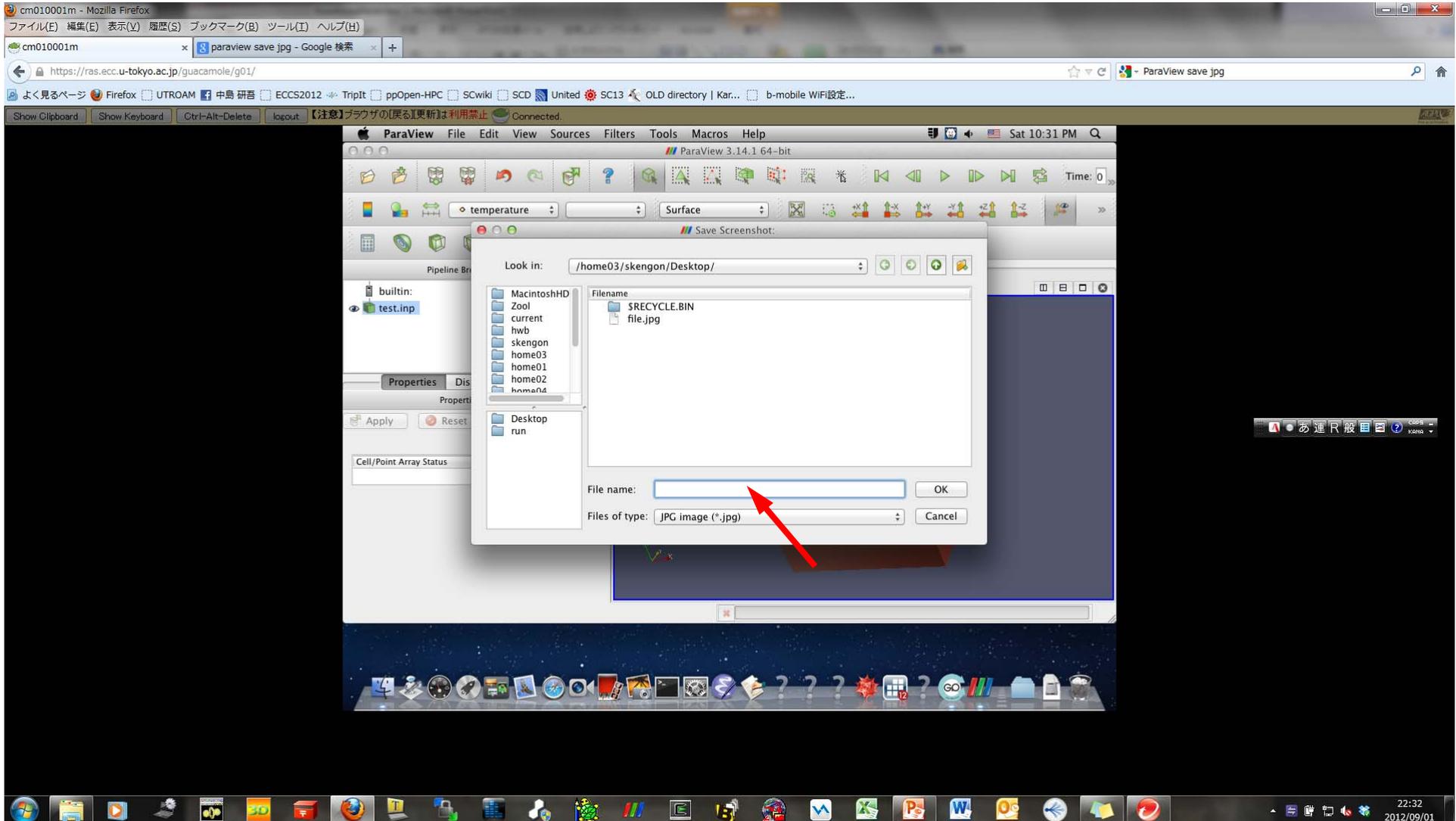
図の保存(2/3)

ここはそのまま「OK」



図の保存(3/3)

書式の選択可能, ファイル名入力



その他情報

- <http://www.paraview.org/>
 - Windows版も入手可能
 - マニュアル類
- 日本語資料は以下にある (Versionがちょっと古いかも)
 - http://www.paraview.org/Wiki/The_ParaView_Tutorial
 - http://paraview.org/Wiki/SC08_ParaView_Tutorial